

**製品名: LSM2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13464**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	LSM2 C6orf28 G7B
別名	U6 snRNA-associated Sm-like protein LSm2 (Protein G7b;Small nuclear ribonuclear protein D homolog;snRNP core Sm-like protein Sm-x5)
遺伝子 ID	57819.0
SwissProt ID	Q9Y333
免疫原	ヒト LSM2 由来の合成ペプチド AA 範囲: 33-83

**背景**

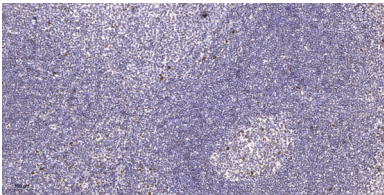
この遺伝子は、RNA 結合タンパク質の LSm ファミリーのメンバーをコードしています。LSm タンパク質は、U6 snRNA の 3'末端オ

リゴ(U)領域に特異的に結合する安定なヘテロ多量体を形成し、U4/U6 snRNP 形成を媒介することで pre-mRNA スプライシングに関与している可能性があります。この遺伝子の擬似遺伝子は、6 番染色体と 19 番染色体の短腕に位置しています。[RefSeq 提供、2011 年 11 月]、機能: U6 snRNA の 3'末端 U 領域に特異的に結合する。プレ mRNA スプライシングに関与している可能性がある。、PTM:DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性:snRNP Sm タンパク質ファミリーに属する。、サブユニット: スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1 から構成される。PLRG1、PNN、PIIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCC HC8。LSm サブユニットはドーナツ型のヘテロマーを形成する。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。